

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年4月21日から、2022年4月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) 次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券 ロ) マネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券
運用方法	①主として、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券を通じて、米国の金融商品取引所上場株式 (上場予定を含みます。以下同じ。) に投資し、値上がり益の獲得をめざします。 ②次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業の株式に投資を行います。 ③次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。 ④この投資信託は、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) とマネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額 (1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。) が10,500円未満の場合、原則として、配当等収益の水準を考慮して決定した額を分配することをめざします。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に並び、下記の金額 (1万口当り。) を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 e. 12,500円以上の場合 ……………500円 なお、計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわない場合があります。

# YMアセット・ 優良米国株ファンド

## 運用報告書 (全体版)

第11期 (決算日 2020年1月20日)  
第12期 (決算日 2020年4月20日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・優良米国株ファンド 愛称：トリプル維新 (プレミアム合衆国)」は、このたび、第12期の決算を行ないました。

ここに、第11期、第12期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124  
(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.yamaguchi.co.jp/>

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		投資信託 資産 証比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 配入金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率		
第3期末 (2018年1月22日)	円 11,485	円 400	% 10.7	12,992	% 10.5	% 98.8	百万円 2,606
第4期末 (2018年4月20日)	10,545	300	△ 5.6	11,955	△ 8.0	98.4	3,442
第5期末 (2018年7月20日)	10,987	350	7.5	12,770	6.8	98.5	4,277
第6期末 (2018年10月22日)	10,493	300	△ 1.8	12,816	0.4	98.4	3,305
第7期末 (2019年1月21日)	9,618	10	△ 8.2	11,981	△ 6.5	99.0	3,210
第8期末 (2019年4月22日)	10,406	300	11.3	13,370	11.6	98.5	3,069
第9期末 (2019年7月22日)	10,239	10	△ 1.5	13,158	△ 1.6	96.2	2,782
第10期末 (2019年10月21日)	10,304	10	0.7	13,204	0.3	97.3	2,913
第11期末 (2020年1月20日)	10,925	350	9.4	14,527	10.0	98.6	2,996
第12期末 (2020年4月20日)	8,780	10	△19.5	11,418	△21.4	99.0	2,542

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ダウ工業株30種) とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

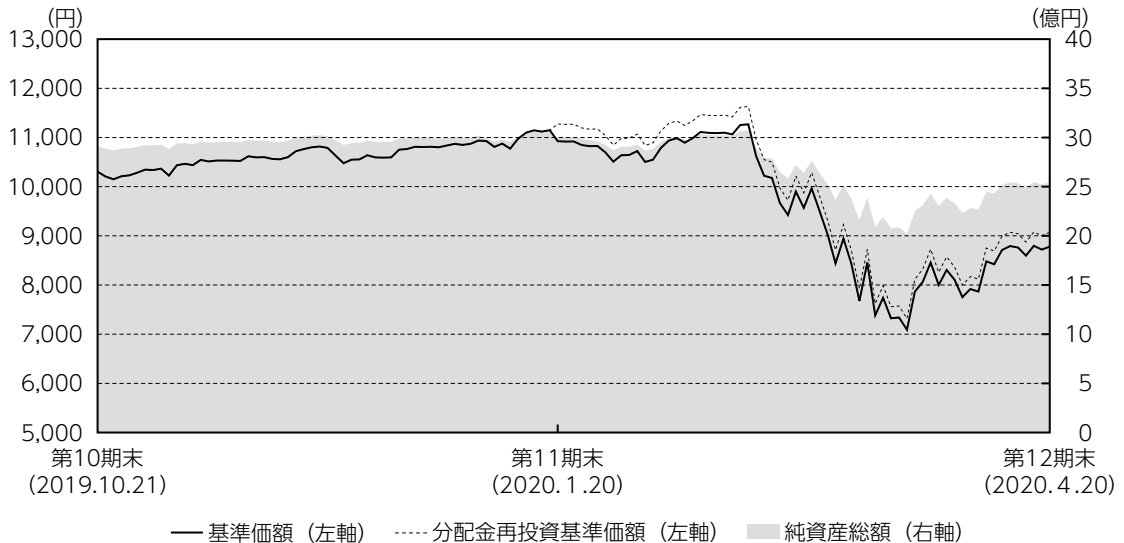
## 当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ工業 株価平均 (円換算ベース)		投 資 組 資 益 入 信 証 比 託 券 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第11期	(期 首) 2019年10月21日	円 10,304	% -	13,204	% -	% 97.3
	10月末	10,337	0.3	13,245	0.3	99.0
	11月末	10,801	4.8	13,846	4.9	99.0
	12月末	10,938	6.2	14,108	6.8	99.1
	(期 末) 2020年1月20日	11,275	9.4	14,527	10.0	98.6
第12期	(期 首) 2020年1月20日	10,925	-	14,527	-	98.6
	1月末	10,644	△ 2.6	14,077	△ 3.1	99.0
	2月末	10,175	△ 6.9	13,365	△ 8.0	98.9
	3月末	8,001	△26.8	10,471	△27.9	99.0
	(期 末) 2020年4月20日	8,790	△19.5	11,418	△21.4	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

第11期首：10,304円

第12期末：8,780円（既払分配金360円）

騰落率：-12.0%（分配金再投資ベース）

## 基準価額の主な変動要因

当作成期において、基準価額は14.8%の下落、分配金再投資基準価額は12.0%の下落となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 投資環境について

### ○米国株式市況

- ・ 当作成期の米国株式市況は下落しました。
- ・ 当作成期首より市況は米国の景気と企業業績に顕著な落ち込みがみられないことを好感し、上昇基調にて推移しました。世界経済の先行きへの不透明感についても、主要国の中央銀行が総じて金融緩和的な姿勢を強めていることにより下支えされるとの見通しが広がり、市況の後押しとなりました。懸念材料であった米中貿易摩擦についても、一定の進展をみせたことが好材料視され、実際に2020年1月に入り第1段階合意が成立すると市況はこれを好感し続伸することとなりました。しかしながら2月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大がグローバル経済に与える影響に対する不透明感が急速に台頭し、市況は大幅調整となりました。3月下旬以降は、主要国の政府と中央銀行が、財政政策や金融政策を総動員する姿勢を示したことから反発基調となりましたが、当作成期首比では下落にて当作成期を終えています。

### ○為替市況

- ・ 当作成期首に比べ、対米ドルで0.7%の円高・米ドル安となりました。2020年2月中旬以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、円高が急速に進展する場面もありました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

- ・ 当ファンドは、次世代米国代表株ファンド（FOF s）（適格機関投資家限定）とマネープールファンド（FOF s）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、次世代米国代表株ファンド（FOF s）（適格機関投資家限定）の受益証券を高位に組み入れました。

### ○次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

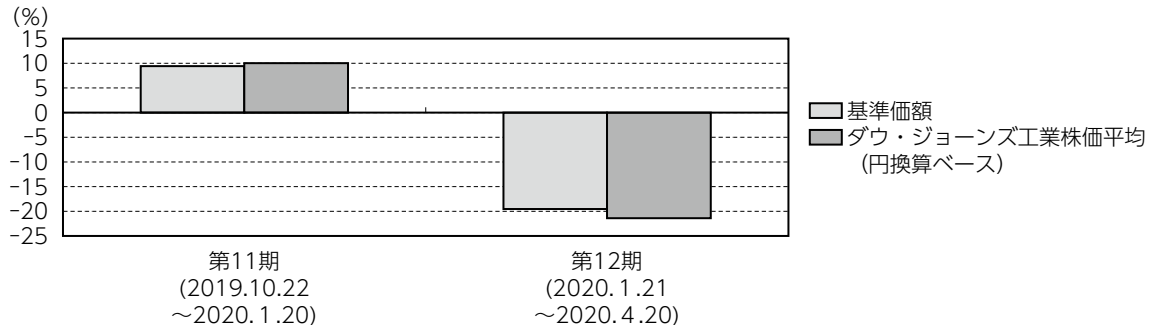
- ・ 基準価額は当作成期首に比べ11.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
  - ・ 米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
  - ・ 主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
  - ・ 景気が堅調に推移する環境下において、業績拡大余地の大きい銘柄に着目しましたが、2020年1月以降は、当作成期首からの市況の上昇ペースが速かったことなどから、上値、下値ともに限定的なレンジ内の動きを想定し、銘柄のローテーションを弾力的に行うよう努めました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速懸念から市況が大きく調整するという想定外の展開となりましたが、調整後の水準からの下値は限定的との判断の下、基本的な運用方針は変更しませんでした。
  - ・ 株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。
  - ・ 適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当作成期末では、8銘柄が入れ替わりしました。
  - ・ また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
  - ・ 株価が上昇し、やや割高感が高まった「LAMB WESTON HOLDINGS INC」や収益拡大余地が限定的と判断した「VERIZON COMMUNICATIONS INC」などの売却を行う一方で、5G普及の恩恵を受けられる情報技術業種の「QUALCOMM INC」や保有するコンテンツの価値が見直されつつあるコミュニケーション・サービス業種の「WALT DISNEY CO/THE」、さらには強いブランド力を維持する「NIKE INC -CL B」などを組み入れました。
- ### ○マネープールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）
- ・ コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第11期は350円、第12期は10円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第11期	第12期
		2019年10月22日 ~2020年1月20日	2020年1月21日 ~2020年4月20日
当期分配金（税込み）	(円)	350	10
対基準価額比率	(%)	3.10	0.11
当期の収益	(円)	350	—
当期の収益以外	(円)	—	10
翌期繰越分配対象額	(円)	924	848

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第11期	第12期
(a) 経費控除後の配当等収益	93.99円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	801.78	0.00
(c) 収益調整金	364.45	347.83
(d) 分配準備積立金	14.31	511.11
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,274.53	858.94
(f) 分配金	350.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	924.53	848.94

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

- ・次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）の受益証券の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

### ○次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

- ・大きな変化が起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。足元、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業業績の下方修正が懸念されるようになっていますが、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、インターネットやバイオ、医療機器などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われれます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大がグローバル経済に与える影響に関して不透明感が台頭、市況は下落基調となっています。今後も、市況は感染拡大が景気や企業業績に与える影響を織り込みによく動きとなると考えられますが、一方で、主要国の政府と中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、財政政策や金融政策を総動員する姿勢を示していることは、市況の下支え要因になると思われれます。米国の景気と企業業績については、予断を許さないものの、直近の株式市況の大幅調整により、悪材料のかなりの部分は既に織り込まれたとも考えられます。新型コロナウイルスの感染に関して何らかの落ち着き所が見いだせれば、株価の戻りを試す展開も期待されます。

### ○マネープールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第11期～第12期		項 目 の 概 要
	(2019年10月22日～2020年4月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	48円	0.478%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 <b>期中の平均基準価額は10,072円です。</b>
（投信会社）	(19)	(0.191)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(28)	(0.273)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	49	0.484	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

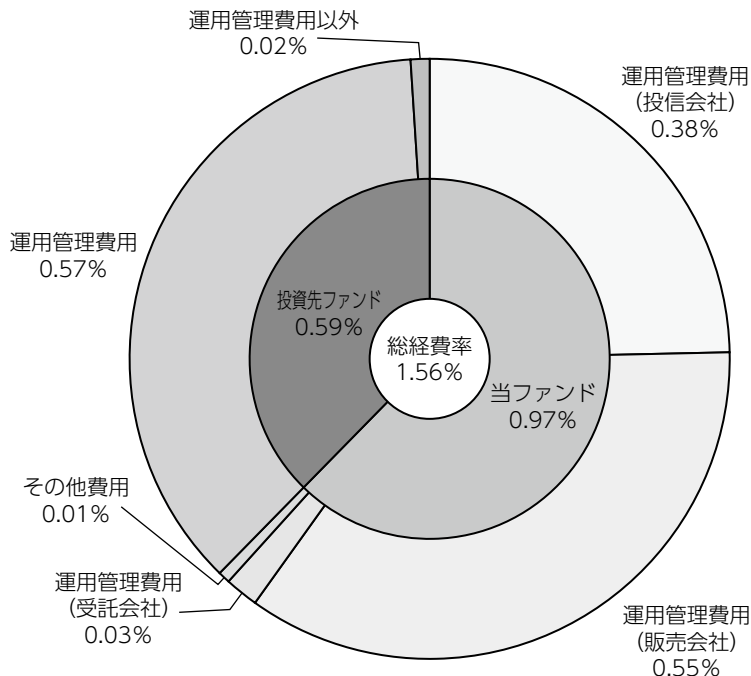
(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



総経費率 (①+②+③)	1.56%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期		第 11 期 ~ 第 12 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国	マネーパール ファンド(FOFs 用)(適格機関投 資家限定)	千口	千円	千口	千円
	-	-	-	-	
内	次世代米国代表 株ファンド (FOFs用)(適格 機関投資家限定)	245,693.795 (-)	288,000 (-)	210,544.048 (-)	279,000 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第11期~第12期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
国内投資信託受益証券

銘柄	第 12 期 末		評 価 額 比 率
	□ 数	金 額	
マネーパールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	千口 99.691	千円 99	% 0.0
次世代米国代表株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	2,282,149.063	2,517,666	99.0
合 計	金 額 2,282,248.754	2,517,766	<99.0%>
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄	

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年4月20日現在

項 目	第 12 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,517,766	% 98.7
コール・ローン等、その他	34,361	1.3
投資信託財産総額	2,552,128	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月20日)、(2020年4月20日)現在

項 目	第 11 期 末	第 12 期 末
(A) 資産	3,100,182,968円	2,552,128,439円
コール・ローン等	36,446,045	32,361,693
投資信託受益証券(評価額)	2,953,736,923	2,517,766,746
未収入金	110,000,000	2,000,000
(B) 負債	103,970,492	9,335,023
未払収益分配金	95,992,596	2,896,196
未払解約金	788,178	-
未払信託報酬	7,108,528	6,366,114
その他未払費用	81,190	72,713
(C) 純資産総額(A - B)	2,996,212,476	2,542,793,416
元本	2,742,645,617	2,896,196,900
次期繰越損益金	253,566,859	△ 353,403,484
(D) 受益権総口数	2,742,645,617口	2,896,196,900口
1万口当り基準価額(C/D)	10,925円	8,780円

(注) 元本状況

期首元本額	2,827,882,531円	2,742,645,617円
追加設定元本額	51,309,913円	255,320,518円
一部解約元本額	136,546,827円	101,769,235円

■損益の状況

第11期 自2019年10月22日 至2020年1月20日  
第12期 自2020年1月21日 至2020年4月20日

項 目	第 11 期	第 12 期
(A) 配当等収益	26,478,621円	2,182,508円
受取配当金	26,483,616	2,187,203
受取利息	23	35
支払利息	△ 5,018	△ 4,730
(B) 有価証券売買損益	245,303,393	△572,414,872
売買益	249,608,653	5,238,552
売買損	△ 4,305,260	△577,653,424
(C) 信託報酬等	△ 7,189,718	△ 6,438,827
(D) 当期損益金(A + B + C)	264,592,296	△576,671,191
(E) 前期繰越損益金	△ 14,989,073	148,029,853
(F) 追加信託差損益金	99,956,232	78,134,050
(配当等相当額)	( 81,967,212)	( 100,737,239)
(売買損益相当額)	( 17,989,020)	(△ 22,603,189)
(G) 合計(D + E + F)	349,559,455	△350,507,288
(H) 収益分配金	△ 95,992,596	△ 2,896,196
次期繰越損益金(G + H)	253,566,859	△353,403,484
追加信託差損益金	99,956,232	78,134,050
(配当等相当額)	( 81,967,212)	( 100,737,239)
(売買損益相当額)	( 17,989,020)	(△ 22,603,189)
分配準備積立金	153,610,627	145,133,657
繰越損益金	-	△576,671,191

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 11 期	第 12 期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,778,342円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	219,900,547円	0円
(c) 収益調整金	99,956,232円	100,737,239円
(d) 分配準備積立金	3,924,334円	148,029,853円
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	349,559,455円	248,767,092円
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,274.53円	858.94円
(g) 分配金	95,992,596円	2,896,196円
(h) 1万口当たり分配金	350円	10円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 11 期	第 12 期
一万口当たり分配金（税引前）	350円	10円

## &lt;課税上の取り扱いについて&gt;

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## お知らせ

- 該当事項はありません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年3月7日まで（2017年4月20日設定）	
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託者が判断した企業の株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビード ファンド	次世代米国代表株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザー ファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告に係わる情報

### 次世代米国代表株ファンド（FOFs用） （適格機関投資家限定）

第11期（決算日：2019年12月9日）

第12期（決算日：2020年3月9日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、去る3月9日に第12期の決算を行いましたので、法令に基づいて第11期～第12期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
	（分配落）	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期(2017年12月7日)	11,806	120	12.7	17,243	14.1	99.1	—	1,825
4期(2018年3月7日)	11,680	20	△ 0.9	16,686	△ 3.2	97.7	—	3,112
5期(2018年6月7日)	12,469	70	7.4	17,586	5.4	97.8	—	3,964
6期(2018年9月7日)	12,748	100	3.0	18,238	3.7	97.4	—	3,809
7期(2018年12月7日)	11,967	20	△ 6.0	17,864	△ 2.1	95.0	—	3,299
8期(2019年3月7日)	12,113	70	1.8	18,201	1.9	97.8	—	3,196
9期(2019年6月7日)	11,892	20	△ 1.7	17,720	△ 2.6	96.3	—	2,782
10期(2019年9月9日)	12,312	40	3.9	18,195	2.7	94.9	—	2,700
11期(2019年12月9日)	12,932	120	6.0	19,315	6.2	96.4	—	2,911
12期(2020年3月9日)	11,326	10	△12.3	16,751	△13.3	97.0	—	2,477

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY（ニューヨーク）ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		（ 参 考 指 数 ） ダウ・ジョーンズ工業株価平均 （円換算ベース）		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第11期	(期 首) 2019年9月9日	円 12,312	% —	18,195	% —	% 94.9	% —
	9月末	12,333	0.2	18,376	1.0	96.3	—
	10月末	12,700	3.2	18,792	3.3	96.6	—
	11月末	13,269	7.8	19,590	7.7	96.4	—
	(期 末) 2019年12月9日	13,052	6.0	19,315	6.2	96.4	—
第12期	(期 首) 2019年12月9日	12,932	—	19,315	—	96.4	—
	12月末	13,293	2.8	19,924	3.2	96.9	—
	2020年1月末	13,483	4.3	19,982	3.5	96.4	—
	2月末	12,146	△ 6.1	17,901	△ 7.3	95.9	—
	(期 末) 2020年3月9日	11,336	△12.3	16,751	△13.3	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

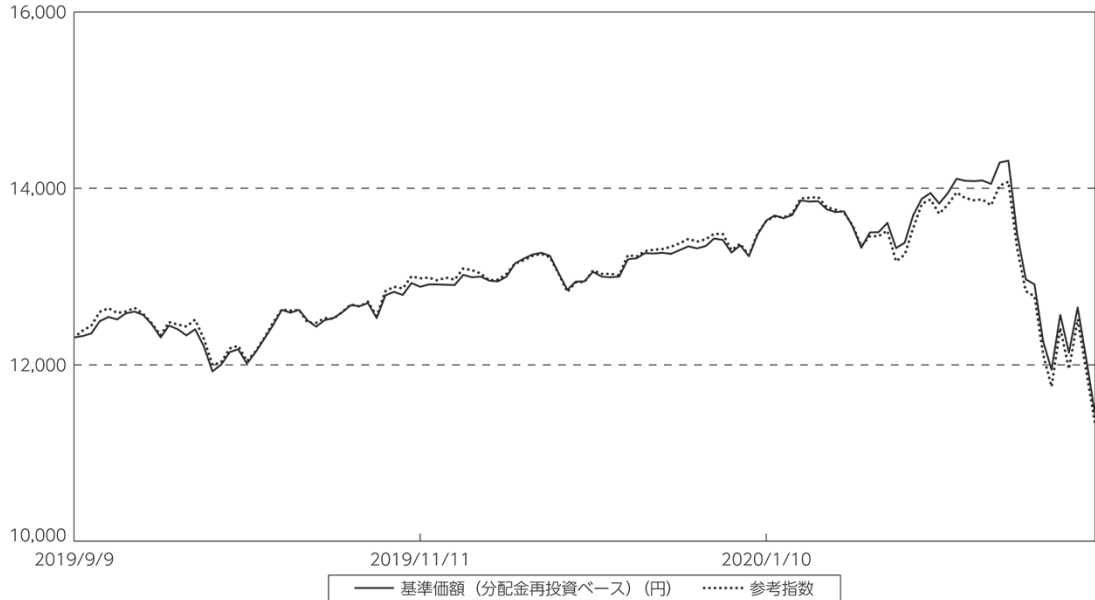
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額等の推移



（注）参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額（分配金再投資ベース）と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

## （上昇要因）

組入銘柄（APPLE INC など）の値上がりが基準価額の上昇要因となりました。

## （下落要因）

米国株式市況全体が下落したことや組入銘柄（BOEING CO/THE など）の値下がり、為替市況が円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

## ● 投資環境について

## ◎ 米国株式市況

- ・米国株式市況は下落しました。
- ・当作成期首より市況は米国の景気と企業業績に顕著な落ち込みがみられないことを好感し、上昇基調にて推移しました。世界経済の先行きへの不透明感についても、主要国の中央銀行が総じて金融緩和的な姿勢を強めていることにより下支えされるとの見通しが広がり、市況の後押しとなりました。懸念材料であった米中貿易摩擦についても、一定の進展をみせたことが好材料視され、実際に2020年1月に入り第1段階合意が成立すると市況はこれを好感し続伸することとなりました。しかしながら2月中旬以降は、新型肺炎の感染拡大がグローバル経済に与える影響に対する不透明感が急速に台頭し、当作成期末にかけて市況は大幅調整となりました。

## ◎ 為替市況

- ・当作成期首に比べ、対米ドルで4.6%の円高・米ドル安となりました。特に当作成期末にかけ、新型肺炎感染拡大を背景にリスク回避傾向が高まり、円高が急速に進展しました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

- ・次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

## &lt;次世代米国代表株マザーファンド&gt;

- ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- ・主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・基本的には、景気が堅調に推移する環境下において、業績拡大余地の大きい銘柄に着目しましたが、2020年1月以降は、当作成期首からの市況の上昇ペースが速かったことなどから、上値、下値ともに限定的なレンジ内の動きを想定し、銘柄のローテーションを弾力的に行うよう努めました。
- ・株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。
- ・適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当作成期末では、7銘柄が入れ替わりました。
- ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・株価が上昇し、やや割高感が高まった「LAMB WESTON HOLDINGS INC」や収益拡大余地が限定的と判断した「VERIZON COMMUNICATIONS INC」などの売却を行う一方で、5G普及の恩恵を受けられると思われる情報技術業種の「QUALCOMM INC」や保有するコンテンツの価値が見直されつつあるコミュニケーション・サービス業種の「WALT DISNEY CO/THE」、さらには強いブランド力を維持する「NIKE INC -CL B」などを組み入れました。



## ●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第11期	第12期
	2019年9月10日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年3月9日
当期分配金	120	10
（対基準価額比率）	0.919%	0.088%
当期の収益	97	10
当期の収益以外	22	—
翌期繰越分配対象額	2,932	2,514

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

- ・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

<次世代米国代表株マザーファンド>

- ・大きな変化が起きている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネットやバイオ、医療機器などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大がグローバル経済に与える影響に関して不透明感が台頭、市況は下落基調となっています。今後も、市況は感染拡大が景気や企業業績に与える影響を織り込みによく動きとなると考えられますが、一方で、主要国の中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、総じてより緩和的な金融政策へと舵を切っていることは、市況の一定の下支え要因になると思われます。米国の景気と企業業績については、予断は許されないものの、一部企業の業績を除いては顕著な落ち込みは今のところみられていません。米国景気が堅調な個人消費に支えられ、巡航速度の成長を遂げていることと考え合わせますと、現行水準からの下値自体は限定的と予想され、戻りを試す展開も期待されます。

## ○ 1万口当たりの費用明細

（2019年9月10日～2020年3月9日）

項 目	第11期～第12期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 37 (35) ( 0 ) ( 2 )	% 0.287 (0.273) (0.001) (0.013)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数） ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書 等の作成等の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	18 (18)	0.139 (0.139)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 )	1 ( 1 ) ( 0 )	0.008 (0.006) (0.002)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	56	0.435	
作成期中の平均基準価額は、12,952円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年9月10日～2020年3月9日）

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第11期～第12期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
次世代米国代表株マザーファンド	133,112	289,670	152,525	350,420

## ○株式売買比率

（2019年9月10日～2020年3月9日）

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第11期～第12期	
	次世代米国代表株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	56,338,465千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	42,949,108千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.31	

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年9月10日～2020年3月9日）

## 利害関係人との取引状況

&lt;次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）&gt;

該当事項はございません。

&lt;次世代米国代表株マザーファンド&gt;

区 分	第11期～第12期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 4,060	百万円 415	% 10.2	百万円 11,046	百万円 4,060	% 36.8

平均保有割合 6.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	第10期末	第12期末	
	口数	口数	評価額
次世代米国代表株マザーファンド	1,255,509	1,236,096	2,460,202

## ○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項目	第12期末	
	評価額	比率
次世代米国代表株マザーファンド	2,460,202	99.1%
コール・ローン等、その他	23,524	0.9
投資信託財産総額	2,483,726	100.0

(注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(36,236,957千円)の投資信託財産総額(39,097,679千円)に対する比率は92.7%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=102.01円		
-----------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第11期末	第12期末
	2019年12月9日現在	2020年3月9日現在
(A) 資産	2,942,317,591	2,483,726,819
コール・ローン等	21,475,295	23,524,586
次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	2,893,872,296	2,460,202,233
未収入金	26,970,000	—
(B) 負債	31,129,305	6,407,632
未払収益分配金	27,012,930	2,187,203
未払信託報酬	4,090,692	4,194,058
未払利息	4	36
その他未払費用	25,679	26,335
(C) 純資産総額(A-B)	2,911,188,286	2,477,319,187
元本	2,251,077,508	2,187,203,294
次期繰越損益金	660,110,778	290,115,893
(D) 受益権総口数	2,251,077,508口	2,187,203,294口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,932円	11,326円

## ○損益の状況

項 目	第11期	第12期
	2019年9月10日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年3月9日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,860	△ 1,404
受取利息	56	8
支払利息	△ 1,916	△ 1,412
(B) 有価証券売買損益	167,923,655	△344,481,211
売買益	172,133,321	8,094,219
売買損	△ 4,209,666	△352,575,430
(C) 信託報酬等	△ 4,116,371	△ 4,220,393
(D) 当期損益金(A+B+C)	163,805,424	△348,703,008
(E) 前期繰越損益金	151,374,694	267,640,758
(F) 追加信託差損益金	371,943,590	373,365,346
(配当等相当額)	( 273,394,149)	( 278,135,136)
(売買損益相当額)	( 98,549,441)	( 95,230,210)
(G) 計(D+E+F)	687,123,708	292,303,096
(H) 収益分配金	△ 27,012,930	△ 2,187,203
次期繰越損益金(G+H)	660,110,778	290,115,893
追加信託差損益金	371,943,590	373,365,346
(配当等相当額)	( 273,546,511)	( 278,248,329)
(売買損益相当額)	( 98,397,079)	( 95,117,017)
分配準備積立金	288,167,188	271,738,772
繰越損益金	-	△354,988,225

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ①作成期首（前作成期末）元本額 2,193,219,059円  
 作成期中追加設定元本額 277,925,504円  
 作成期中一部解約元本額 283,941,269円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1,1326円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2019年9月10日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年3月9日
費用控除後の配当等収益額	11,969,644円	6,285,217円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	78,822,707円	-円
収益調整金額	371,943,590円	278,248,329円
分配準備積立金額	224,387,767円	267,640,758円
当ファンドの分配対象収益額	687,123,708円	552,174,304円
1万口当たり収益分配対象額	3,052円	2,524円
1万口当たり分配金額	120円	10円
収益分配金金額	27,012,930円	2,187,203円

## ○分配金のお知らせ

---

	第11期	第12期
1万口当たり分配金（税込み）	120円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## 次世代米国代表株マザーファンド

## 《第14期》決算日2020年3月9日

[計算期間：2019年9月10日～2020年3月9日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、3月9日に第14期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	期中率	期騰落	期中率			
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2018年3月7日)	19,591	12.1	16,686	10.4	98.8	—	41,283
11期(2018年9月7日)	21,753	11.0	18,238	9.3	98.1	—	44,708
12期(2019年3月7日)	20,862	△ 4.1	18,201	△ 0.2	98.4	—	48,004
13期(2019年9月9日)	21,380	2.5	18,195	△ 0.0	95.5	—	45,961
14期(2020年3月9日)	19,903	△ 6.9	16,751	△ 7.9	97.7	—	36,538

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2019年 9 月 9 日	円 21,380	% —		% —	% 95.5	% —
9 月 末	21,425	0.2	18,376	1.0	97.1	—
10 月 末	22,071	3.2	18,792	3.3	97.1	—
11 月 末	23,074	7.9	19,590	7.7	96.7	—
12 月 末	23,348	9.2	19,924	9.5	97.4	—
2020年 1 月 末	23,694	10.8	19,982	9.8	97.0	—
2 月 末	21,339	△ 0.2	17,901	△ 1.6	96.6	—
(期 末) 2020年 3 月 9 日	19,903	△ 6.9	16,751	△ 7.9	97.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

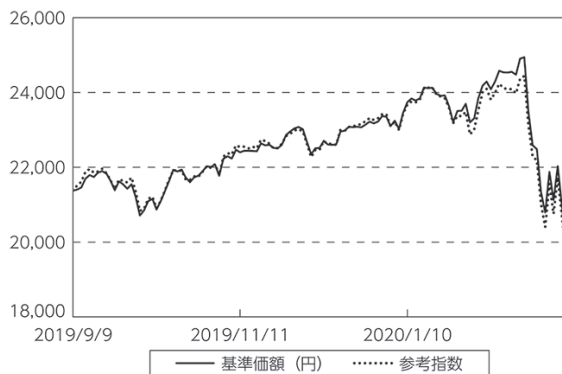
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.9%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄 (APPLE INC など) の値上がりが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米国株式市況全体が下落したことや組入銘柄 (BOEING CO/THE など) の値下がり、為替市況が円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎米国株式市況

- ・米国株式市況は下落しました。
- ・期首より市況は米国の景気と企業業績に顕著な落ち込みがみられないことを好感し、上昇基調にて推移しました。世界経済の先行きへの不透明感についても、主要国の中央銀行が総じて金融緩和的な姿勢を強めていることにより下支えされるとの見通しが広がり、市況の後押しとなりました。懸念材料であった米中貿易摩擦についても、一定の進展をみせたことが好材料視され、実際に2020年1月に入り第1段階合意が成立すると市況はこれを好感し続伸することとな



りました。しかしながら2月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大がグローバル経済に与える影響に対する不透明感が急速に台頭し、期末にかけて市況は大幅調整となりました。

#### ◎為替市況

- ・期首に比べ、対米ドルで4.6%の円高・米ドル安となりました。特に期末にかけ、新型コロナウイルス感染拡大を背景にリスク回避傾向が高まり、円高が急速に進展しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- ・主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・基本的には、景気が堅調に推移する環境下において、業績拡大余地の大きい銘柄に着目しましたが、2020年1月以降は、期首からの市況の上昇ペースが速かったことなどから、上値、下値ともに限定的なレンジ内の動きを想定し、銘柄のローテーションを弾力的に行うよう努めました。
- ・株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。
- ・適宜銘柄の見直しを行った結果、期首と期末では、7銘柄が入れ替わりました。
- ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・株価が上昇し、やや割高感が高まった「LAMB WESTON HOLDINGS INC」や収益拡大余地が限定的

と判断した「VERIZON COMMUNICATIONS INC」などの売却を行う一方で、5G普及の恩恵を受けられると思われる情報技術業種の「QUALCOMM INC」や保有するコンテンツの価値が見直されつつあるコミュニケーション・サービス業種の「WALT DISNEY CO/THE」、さらには強いブランド力を維持する「NIKE INC -CL B」などを組み入れました。

#### ○今後の運用方針

- ・大きな変化が起きている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネットやバイオ、医療機器などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると考えられます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大がグローバル経済に与える影響に関して不透明感が台頭、市況は下落基調となっています。今後も、市況は感染拡大が景気や企業業績に与える影響を織り込みによく動きとなると考えられますが、一方で、主要国の中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、総じてより緩和的な金融政策へと舵を切っていることは、市況の一定の下支え要因になると考えられます。米国の景気と企業業績については、予断は許されないものの、一部企業の業績を除いては顕著な落ち込みは今のところみられていません。米国景気が堅調な個人消費に支えられ、巡航速度の成長を遂げていることと考え合わせますと、現行水準からの下値自体は限定的と予想され、戻りを試す展開も期待されます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年9月10日～2020年3月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 31 (31)	% 0.136 (0.136)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	1 ( 1 )	0.006 (0.006)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	32	0.143	
期中の平均基準価額は、22,637円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年9月10日～2020年3月9日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 19,334	千アメリカドル 233,524	百株 22,035	千アメリカドル 285,248

(注) 金額は受渡代金。

## ○株式売買比率

(2019年9月10日～2020年3月9日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	56,396,887千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	42,949,108千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.31

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日～2020年3月9日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 4,060	百万円 415	% 10.2	百万円 11,046	百万円 4,060	% 36.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)			業種等	
		株数	当 期 末			
			株数	評 価 額		評 価 額
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	1,502	1,532	16,582	1,691,567	各種金融	
BOEING CO/THE	954	1,005	26,371	2,690,184	資本財	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	2,499	—	—	—	電気通信サービス	
CATERPILLAR INC	1,633	1,287	15,625	1,593,953	資本財	
COCA-COLA CO/THE	1,187	1,238	6,841	697,869	食品・飲料・タバコ	
CHEVRON CORP	1,342	1,231	11,736	1,197,197	エネルギー	
CME GROUP INC	—	500	10,813	1,103,034	各種金融	
WALT DISNEY CO/THE	—	1,232	14,201	1,448,670	メディア・娯楽	
DR HORTON INC	2,344	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	1,096	—	—	—	各種金融	
MCDONALD'S CORP	1,293	945	18,804	1,918,216	消費者サービス	
S&P GLOBAL INC	—	315	8,538	871,001	各種金融	
MERCK & CO. INC.	1,057	1,145	9,411	960,107	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
3M CO	1,090	—	—	—	資本財	
BANK OF AMERICA CORP	4,086	5,250	13,497	1,376,905	銀行	
SYSCO CORP	—	1,406	9,413	960,319	食品・生活必需品小売り	
UNITED TECHNOLOGIES CORP	—	1,179	14,911	1,521,172	資本財	
UNITEDHEALTH GROUP INC	1,042	936	26,578	2,711,298	ヘルスケア機器・サービス	
VULCAN MATERIALS CO	319	300	3,823	390,004	素材	
WALMART INC	1,055	830	9,730	992,566	食品・生活必需品小売り	
CADENCE DESIGN SYS INC	449	1,295	8,382	855,102	ソフトウェア・サービス	
COSTCO WHOLESALE CORP	190	152	4,742	483,828	食品・生活必需品小売り	
NIKE INC -CL B	—	1,628	14,387	1,467,694	耐久消費財・アパレル	
MICROSOFT CORP	1,497	983	15,893	1,621,326	ソフトウェア・サービス	
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	188	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
INTUITIVE SURGICAL INC	146	125	6,939	707,872	ヘルスケア機器・サービス	
INTUIT INC	136	183	5,054	515,568	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	—	1,105	8,560	873,249	半導体・半導体製造装置	
AMAZON.COM INC	84	78	14,838	1,513,625	小売	
APPLE INC	1,018	738	21,339	2,176,829	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
COSTAR GROUP INC	138	53	3,748	382,371	商業・専門サービス	
MSCI INC	403	—	—	—	各種金融	
VISA INC-CLASS A SHARES	1,439	1,045	19,265	1,965,285	ソフトウェア・サービス	
FACEBOOK INC-CLASS A	334	78	1,424	145,345	メディア・娯楽	
DIAMONDBACK ENERGY INC	461	242	1,176	120,065	エネルギー	
LAMB WESTON HOLDINGS INC	1,792	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	467	504	7,382	753,094	ヘルスケア機器・サービス	
合 計	株数・金額	31,246	28,545	350,017	35,705,330	
	銘柄数<比率>	30	30	—	<97.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 35,705,330	% 91.3
コール・ローン等、その他	3,392,349	8.7
投資信託財産総額	39,097,679	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(36,236,957千円)の投資信託財産総額(39,097,679千円)に対する比率は92.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=102.01円		
------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	39,097,679,843
コール・ローン等	1,700,253,824
株式(評価額)	35,705,330,747
未収入金	1,627,723,327
未収配当金	64,371,945
(B) 負債	2,559,362,662
未払金	2,133,361,540
未払解約金	426,000,000
未払利息	1,122
(C) 純資産総額(A-B)	36,538,317,181
元本	18,357,894,861
次期繰越損益金	18,180,422,320
(D) 受益権総口数	18,357,894,861口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,903円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 21,497,721,553円  
 期中追加設定元本額 2,138,533,239円  
 期中一部解約元本額 5,278,359,931円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9903円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

次世代米国代表株ファンド	16,172,127,070円
次世代米国代表株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	1,236,096,183円
次世代米国代表株ファンド(為替ヘッジあり)	841,545,210円
外国株式アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	108,126,398円
合計	18,357,894,861円

## ○損益の状況 (2019年9月10日~2020年3月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	337,091,734
受取配当金	334,256,958
受取利息	2,921,401
支払利息	△ 86,625
(B) 有価証券売買損益	△ 2,498,174,543
売買益	3,094,451,523
売買損	△ 5,592,626,066
(C) 保管費用等	△ 2,861,993
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,163,944,802
(E) 前期繰越損益金	24,463,930,430
(F) 追加信託差損益金	2,602,206,761
(G) 解約差損益金	△ 6,721,770,069
(H) 計(D+E+F+G)	18,180,422,320
次期繰越損益金(H)	18,180,422,320

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（2010年11月24日設定）	
運用方針	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の公社債等に実質的な投資を行い、利子等収益の確保を図ります。	
主要運用対象	ベビーフンド	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の公社債等に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告に係わる情報

### マネープールファンド（FOFs用） （適格機関投資家限定）

第18期（決算日：2019年11月20日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、去る11月20日に第18期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
14期(2017年11月20日)	10,029		0		△0.0	—	—	10	
15期(2018年5月21日)	10,027		0		△0.0	—	—	10	
16期(2018年11月20日)	10,025		0		△0.0	—	—	10	
17期(2019年5月20日)	10,022		0		△0.0	—	—	10	
18期(2019年11月20日)	10,020		0		△0.0	—	—	210	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2019年5月20日	円 10,022		% —		% —		% —
5月末	10,022		0.0		—		—
6月末	10,022		0.0		—		—
7月末	10,022		0.0		—		—
8月末	10,021		△0.0		—		—
9月末	10,021		△0.0		—		—
10月末	10,020		△0.0		—		—
(期末) 2019年11月20日	10,020		△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

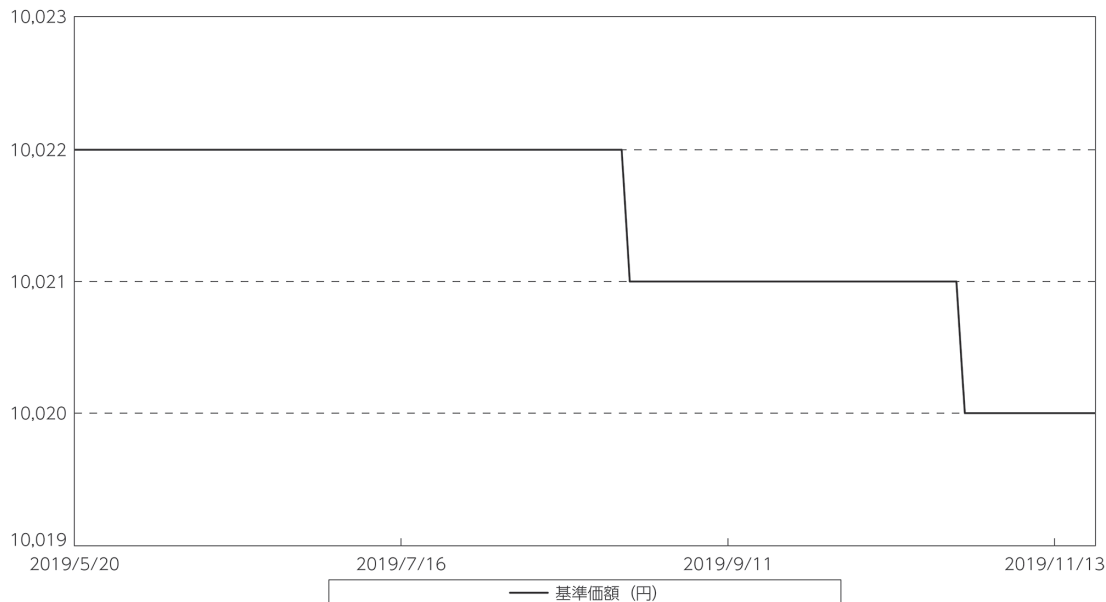
## ○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%下落となりました。

## 基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

(下落要因)

信託報酬等コストなどが基準価額にマイナスに影響しました。

## ●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年11月20日のコール・レート

は-0.047%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて  
 <マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

・期を通じて、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持しました。

&lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。



## ●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第18期	
	2019年5月21日～ 2019年11月20日	
当期分配金 （対基準価額比率）	—	—%
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	48	

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

<マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

- ・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

（2019年5月21日～2019年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.006)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.006)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.000	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、10,021円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2019年5月21日～2019年11月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 832,637	千円 847,874	千口 636,775	千円 648,428

○利害関係人との取引状況等

（2019年5月21日～2019年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年11月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 9,985	千口 205,847	千円 209,614

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マネー・マーケット・マザーファンド	千円 209,614	% 99.7
コール・ローン等、その他	579	0.3
投資信託財産総額	210,193	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年11月20日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	210,193,984
コール・ローン等	578,491
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	209,614,924
未収入金	569
(B) 負債	54,087
未払信託報酬	54,087
(C) 純資産総額(A-B)	210,139,897
元本	209,712,461
次期繰越損益金	427,436
(D) 受益権総口数	209,712,461口
1万口当たり基準価額(C/D)	10.020円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 10,171,417円  
 期中追加設定元本額 848,218,742円  
 期中一部解約元本額 648,677,698円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0020円です。

## ②分配金の計算過程

項目	2019年5月21日～ 2019年11月20日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	1,015,138円
分配準備積立金額	38円
当ファンドの分配対象収益額	1,015,176円
1万口当たり収益分配対象額	48円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

## ○損益の状況（2019年5月21日～2019年11月20日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 45
受取利息	1
支払利息	△ 46
(B) 有価証券売買損益	40,824
売買益	2
売買損	40,822
(C) 信託報酬等	△ 54,087
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,308
(E) 前期繰越損益金	△ 423
(F) 追加信託差損益金	441,167
(配当等相当額)	( 1,016,180)
(売買損益相当額)	(△ 575,013)
(G) 計(D+E+F)	427,436
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	427,436
追加信託差損益金	441,167
(配当等相当額)	( 1,015,138)
(売買損益相当額)	(△ 573,971)
分配準備積立金	38
繰越損益金	△ 13,769

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第30期》決算日2019年11月20日

[計算期間：2019年5月21日～2019年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第30期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第30期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
26期(2017年11月20日)	円 10,184	0.0	—	—	百万円 1,266
27期(2018年5月21日)	10,184	0.0	—	—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183	△0.0	—	—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183	0.0	—	—	1,464
30期(2019年11月20日)	10,183	0.0	—	—	1,636

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2019年5月20日	円 10,183	—	—	—	—
5月末	10,183	0.0	—	—	—
6月末	10,183	0.0	—	—	—
7月末	10,183	0.0	—	—	—
8月末	10,183	0.0	—	—	—
9月末	10,183	0.0	—	—	—
10月末	10,183	0.0	—	—	—
(期末) 2019年11月20日	10,183	0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

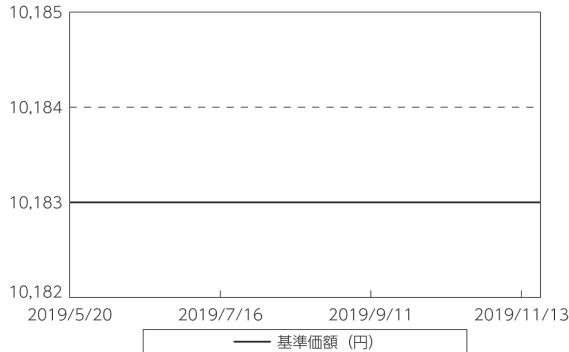
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年11月20日のコール・レートは-0.047%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## ○今後の運用方針

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年5月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年5月21日～2019年11月20日)

## その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 197,799,829	千円 197,799,832

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年5月21日～2019年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年11月20日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,998	% 85.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,399,998	% 85.2
コール・ローン等、その他	242,434	14.8
投資信託財産総額	1,642,432	100.0



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,642,432,177
コール・ローン等	242,433,540
その他有価証券(評価額)	1,399,998,637
(B) 負債	6,042,285
未払解約金	6,041,925
未払利息	360
(C) 純資産総額(A-B)	1,636,389,892
元本	1,607,027,396
次期繰越損益金	29,362,496
(D) 受益権総口数	1,607,027,396口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,438,552,736円  
 期中追加設定元本額 983,153,587円  
 期中一部解約元本額 814,678,927円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	371,701,349円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	261,887,458円
マネーボールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	205,847,908円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	92,082,329円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	75,546,294円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	29,040,830円
Navio マネーボールファンド	27,325,323円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	23,068,823円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	22,410,594円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	20,075,917円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	19,635,282円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	17,656,128円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	15,671,669円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	14,975,942円
ビムコ・エマーゼン・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	13,128,307円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ J/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円
ビムコ・エマーゼン・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	10,766,608円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	9,387,547円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,201,705円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,859,081円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>(毎月分配型)	8,453,960円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円

## ○損益の状況 (2019年5月21日~2019年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 39,261
受取利息	5,313
支払利息	△ 44,574
(B) 保管費用等	△ 288
(C) 当期損益金(A+B)	△ 39,549
(D) 前期繰越損益金	26,318,773
(E) 追加信託差損益金	17,991,594
(F) 解約差損益金	△14,908,322
(G) 計(C+D+E+F)	29,362,496
次期繰越損益金(G)	29,362,496

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	7,661,389円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	6,879,079円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
三菱UFJ J/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,766,108円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	5,056,177円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
MUAM ビックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	4,131,508円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,899,063円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,836,590円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,683,229円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,542,269円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2,026,238円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,016,707円
パリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,611,189円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	1,513,806円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	1,378,553円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,362円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,116,850円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,038,788円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,668円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	847,016円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	796,426円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円

ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	667, 045円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641, 668円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	640, 555円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	635, 856円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608, 110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	601, 281円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564, 702円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491, 836円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491, 449円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421, 681円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	413, 472円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	383, 914円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	379, 197円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	358, 088円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305, 382円
Navio インド債券ファンド	296, 406円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	270, 734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	265, 842円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212, 322円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	211, 113円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	207, 207円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111, 354円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	109, 005円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99, 465円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98, 368円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89, 620円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89, 371円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88, 852円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87, 384円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	82, 770円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69, 757円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	50, 073円
テンプレートン新興国小型株ファンド	49, 097円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39, 351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30, 649円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30, 457円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	30, 438円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19, 658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19, 658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19, 658円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9, 829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9, 829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9, 829円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9, 821円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9, 821円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9, 821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9, 821円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9, 821円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9, 820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9, 820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9, 820円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9, 820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9, 820円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円

三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
合計	1,607,027,396円